



# あみの四季彩

網野町の人口(人)			
	R2.1末	R2.2末	前月比
0~14歳	1,218	1,215	-3
15~64歳	6,708	6,670	-38
65歳~	4,843	4,843	0
合計	12,769	12,728	-41

## 橘小学校 サンガつながり隊 (1月27日)



寒空中、京都サンガFCつながり隊による出前授業が橘小学校の全児童を対象に行われました。

この授業は、サッカーを通して仲間づくりやコミュニケーション能力を身につけることを目的としています。コーチから「これはどう思う?」「どうしたらいいかな?」と盛んに声かけられ、子どもたちも互いに声をかけ合いながら、元気いっぱいグラウンドを駆けまわってボール運動を楽しみました。



「ほかの学年とはなかなかできないので、一緒にできて楽しかった。」  
「サッカーは苦手だけど、いろいろな技ができて楽しかった。」と子ども達には良い体験となったようです。

## ゴールド食堂 地域の集い場 (1月29日)

「丹後に住むお年寄りが、楽しく食事をするだけでなく、いろんな人との出会いのきっかけとなる場所になれば」と話されるのは、浅茂川で飲食店を営む岩淵さんご夫妻です。



最初は、シルバー食堂として始めましたが、お客さんから「銀よりも金の方がいいなあ」という声があり、『ゴールド食堂』と名前を変えました。ゴールド食堂では、箸やおしぼりを“あえて”セルフサービスにしています。お客さん同士で気付き、配り合う中で会話生まれ、知らない人同士に繋がりが生まれます。

主に65歳以上の方を対象に、不定期で開催していますが、リピーターも多く、25席はいつも満席です。



「コミュニケーションを生むために、私たちは、ゴールド食堂という場所と食事を提供しています。ニーズがある限り続けていきたい。」と岩淵さんは語られました。

## あみのええとに再発見

## 節分太鼓 “伝統行事に思いっきり感動!” (2月3日)

2月3日節分の日、網野町浅茂川地区で『節分太鼓』が行われました。数えて36歳になる青年が集まり、今年『良会(うしろかい)』を結成しました。



私は、この行事に叩き手の補助として参加していましたが、今回は叩き手の目線で記事を書きたいと思います。

当日は、朝から夜まで町内の厄年の方がおられる家や保育所、商店など約200軒を回って太鼓を叩き、厄払いを行いました。良会はメンバーのほとんどが太鼓未経験者でしたが、この日のために昨年11月から約3ヶ月間、太鼓の練習を行ってきました。



節分太鼓当日、メンバー達は「太鼓を叩く方は、その日1回きり、その1回でしっかり厄が払われるよう、1軒1軒、心を込めて打とう」と決めて出発しました。

昼を過ぎる頃には徐々に声が枯れ、叩き手の手の皮がめくれてきました。手にテーピングをして、わずかな休憩にはのど飴をなめ、少しでも声が出せるよう、皆が1回1回の太鼓を全力で打ち続けました。

夜10時頃、気づけばフィナーレを迎えていました。達成感とともに、節分太鼓が終わる寂しさ。伝統行事を同世代の仲間と協力し、次の世代に繋いでいくという貴重な体験をさせていただきました。

最後に、指導していただいた浦嶋太鼓保存会の皆さま、歴代の先輩方、そして、1月は、ほぼ毎日練習があったため家庭を空けることが多く、それでも支えてくれた良会の家族の皆さま、そして地域の方々に本当に感謝しています。

